

目的



大学や企業等の外部との連携方法に悩みや課題を感じている学校の支援には、教育局内で課を超えた連携が重要であり、更に物品を一括調達にすることで学校の事務負担軽減につながると共にスケールメリットも期待できる。

実施内容

教育局内での課を超えた連携の重要性について



目的によりそれぞれの課に担当を設定

- ◆ ICT教育推進課：県内全域で環境整備を推進
 - ◆ 高校教育指導課：教育課程担当や教員研修担当等による教科や探究活動との関係づけ
 - ◆ 魅力ある高校づくり課：再編整備に伴い、DX事業を活用した学校の特色化を支援
- ➔ 1つの課が実施できる取組は限られているが、複数の課と連携することで広範囲での取組を実施することができ、相乗効果を高めることが可能である。

見込まれる効果：課題を多面的に捉える・知恵を出し合う・アドバイスをし合う・事業を連携推進

【課題】

ICTの導入やDXへの対応、外部との連携の必要性を理解していても、その方法に悩みや課題を感じている学校もある。

【対応】

教育局の大学・企業との既存のネットワークを基にICT教育推進課がDXハイスクールの取組と連携できる機関へ依頼したことで連携が成立

➔ 一括調達

各校の申請書について、各校の教育課程を踏まえた実現可能性や具体性などの観点から高校教育指導課がアドバイスを行い、物品の調達においては、ICT教育推進課が一括調達を実施

※今年度は25校が一括調達に参加

【課題】

学校にて複数・多額の物品調達を行う必要があるため事務負担が増える

【対応】

各校の導入予定物品を調査し、複数の学校が導入予定のものはICT教育推進課でまとめて調達を実施

一例) 高性能PCはスケールメリットにより約35%程度安価*で調達
(*公式HP定価等簡易比較)

